

インクジェット用 手作りデニムバッグキット

この度は、サンワサプライのインクジェット用手作りデニムバッグキットをご購入いただき、誠にありがとうございます。このキットひとつで、手作りデニムバッグがカンタンに、しかも美しく作れます。キットの中に入っている用紙は、インクジェットプリンタで印刷した画像を、アイロンを使って濃い色のカラー布に転写することのできる用紙です。この用紙を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

ご使用になる前にご確認ください。

この用紙は、インクジェットプリンタで簡単にオリジナルのアイロン転写ができる便利な用紙ですが、転写後の布は市販されているプリントTシャツやシルク印刷されている布などと異なり、デリケートな取り扱いが必要です。これらの布と同様に取り扱い注意してください。インクジェットプリンタのインクの性質上、洗濯を重ねると色落ちしたり、アイロンが足りないと色が褪せたり、また洗濯方法に気をつけていただく必要があります。用紙自体の耐久性も高めましたが、デメリットもご理解いただいた上で、ご使用いただけますようお願いいたします。また洗濯方法についてはP.4の「洗濯について」の欄をご覧ください。

洗濯耐久性はあげておりますが、洗濯によりにじみや色落ちが生じることがあります。インクは黒・赤・青・黄の順で色移りしやすくなっています。(黒が一番にじみやすい。) くりかえし洗濯をされるものには黒をメインで使われないことをおすすめします。一度転写したものはがすことは出来ませんが、いらぬ布で試してからご使用ください。失敗しても転写部分がはがせる、やり直しのできる「はがせる転写紙」もございます。詳しくは、「JP-TPRHAG」という品番で弊社サイトに詳細をご覧ください。ポリエステル100%など対応していない布に転写はできません。対応していない布に転写すると、色落ちやはがれ、にじみなど不具合が発生します。対応する布について、詳しくは下記の「転写できる布」をご覧ください。

安全上のご注意

アイロンを使用しますので、やけど、火災に十分にご注意ください。特にお子さまだけによる取り扱いはおやめください。ご使用前に本製品とご使用になるアイロンの取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

転写できる布

このキットの中に入っているデニムバッグの他、白・淡色の布や、黒や赤など濃い色のカラー布で、綿および綿ポリ素材のものに転写できます。

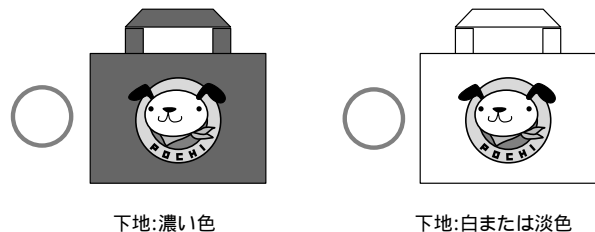
1. 生地素材

綿100%から綿50%・ポリエステル50%の混紡率のものまで、転写可能です。(ポリエステル50%以上の混紡率、及び綿・ポリエステル以外の混紡生地については、転写不良の起こる可能性があり、お奨めできません。また、対応布以外のものに転写されると、色落ちやにじみ、はがれの原因となります。) ポリエステル50%以上の綿ポリ素材、ナイロンなどの化繊布には、化繊布用アイロン転写紙「JP-TPRTE」をご利用ください。詳しくは弊社サイトをご参照ください。

2. 生地密度(粗さの目安)

左記の写真(原寸)のように、縦目及び横目のいずれかの大きい方の織り目の間隔が1mm以内のものをご使用ください。(これより目の粗いものは、転写不良の起こる可能性があり、お奨めできません。)

生地色について



アイロンで熱をかけて転写しても、アイロン転写紙は白色のままなので、下地の布の色が黒や赤などの濃い色でも透けて見えません。下地の色が濃い色でも、転写画像が下地の色にかがらず、キレイです。

3. 防水加工など特殊な加工がされていないもの

事前に一度洗濯をされる事をおすすめします。

準備するもの

デニムバッグ

転写前の洗濯をおすすめします。



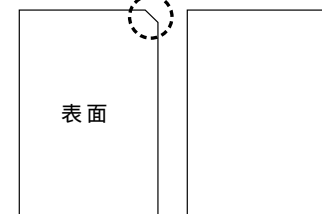
表面が堅めのアイロン台または、堅くて丈夫な台(テーブルやこたつ板などの上、厚手の紙や布を敷いたもの)



アイロン



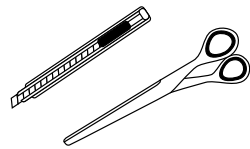
表面



アイロン転写紙
右上コーナーがカットしてある面が表です。

シリコン紙

何回も再利用できます。裏表はありません。しわが入っている部分は使用しないでください。



カッター or はさみ

セット内容

- デニムバッグ 1枚
- アイロン転写紙(A4) 1枚
- シリコン紙 1枚
- 説明書 1部

使用方法

1 デザインをします。

お好きな画像、イラストを使ってあらかじめデザインをします。その後、アイロン転写紙の表面に正像でプリントします。

最新の情報、自由に使える画像やイラストなどの素材のダウンロードについては、用紙専用サイト「ペーパーミュージアム」<http://www.sanwa.co.jp/paper/>または、<http://www.sanwa.co.jp/へgo!>

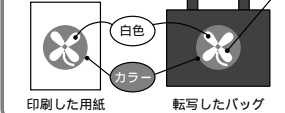
ご注意

用紙のまわりが汚れやすくなるので、フチなし全面印刷はできません。フチなし全面印刷用のデザインはしないでください。洗濯耐久性はあげておりますが、洗濯によりにじみや色落ちが生じることがあります。インクは黒・赤・青・黄の順で色移りしやすくなっています。(黒が一番にじみやすい。) 繰り返し洗濯をされるものには黒をメインで使われないことをおすすめします。

ワンポイント

白色が簡単に作れる!!

プリンタは白色のインクを持っていないので白色は印刷できませんが、転写紙の「印刷しない部分」がそのまま白色で布地の上にある「性質」を利用して白色を作ることができます。印刷しない部分が下地によって白色に。



2 印刷をします。デザインした画像をそのまま正像でアイロン転写紙に印刷します。

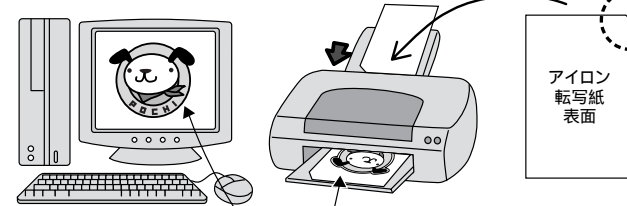
プリンタについて

このアイロン転写紙が使えるのは、右記のプリンタです。

- エプソン : フォト・マッハジェットプリンタ(PM・PX・CCシリーズ)
マッハジェット・プリンタ(MJシリーズ)
PM-4000PX、PX-G900、CC-600PXなどの顔料系インク対応
- キヤノン : パブルジェットプリンタ(PIXUS・BJC・BJシリーズ)
レックスマーク : カラーインクジェットプリンタ
富士ゼロックス : カラーインクジェットプリンタ(JetWindシリーズ)
hp・NEC製プリンタでは洗濯時の色落ちが激しいため対応していません。

印刷について

- 1) 用紙サイズを必ず「A4」にしてください。
- 2) 用紙を置いた時、右上のコーナーがカットしてある面が表面になります。表面がプリンタのノズル側にくるように用紙をプリンタに差込んでください。
- 3) この用紙は手差しで1枚1枚給紙してください。給紙されにくい時は、用紙の後ろにA4サイズの台紙を置いてください。
- 4) 使用するプリンタの機種によりわずかに濃淡の差が生じることがあります。その場合は、各機種の取扱説明書に従い濃度調節を行ってください。また、プリンタ各種に応じてカラーバランス・ガンマ補正・各色の濃度などを調節してください。
- 5) 下記の用紙設定に従い、正像プリントします。



画像を反転させないでください

右上コーナーがカットしてある面が表面で、この面に印刷できます。裏表を間違えないようにプリンタにセットしてください。

ご注意

アイロン転写紙の表面がプリンタのノズル側にくるように用紙をセットしてください。(裏表を間違えないように。) アイロン転写紙の右上コーナーがカットしてある面が表面です。用紙の周りが汚れやすくなるので、フチなし全面印刷はしないでください。用紙がカールしていたら、カールを直してセットしてください。用紙設定でキヤノン、エプソンなどの「Tシャツ転写紙」、「アイロンプリントペーパー」は選ばないでください。画像が反転されてしまいます。エプソン製プリンタPMシリーズで黒や濃い色を多く使って印刷するときは、用紙設定で「アイロンプリントペーパー」を選んでください。また、その際は画像が反転されますので、元の画像を反転させておき、印刷画像が正像になるようにしてください。

用紙設定・モード設定(例)

印刷の際には下記の設定でのご使用いただくことで良好な画像を得ることができます。

プリンタ	用紙設定	印刷モード
エプソン	PM・PX・CCシリーズ	きれい / スーパーファイン / ファイン
	MJシリーズ	きれい / スーパーファイン
キヤノン	普通紙	標準 / ファイン
	普通紙	ベスト / ノーマル / 高品質 / 標準
富士ゼロックス・レックスマーク	普通紙	ベスト / ノーマル / 高品質 / 標準

- 1: エプソンプリンタ PM-4000PX、PX-G900・V600、CC-600PXなどの全色顔料系インクにも対応していますが、美しい印刷・転写のために、下記のように用紙設定を行って印刷してください。
- 2: より美しい印刷のために、下記の設定を行ってください。

注: hp・NEC製プリンタなど上記以外のプリンタには対応していません。

印刷についてのご注意

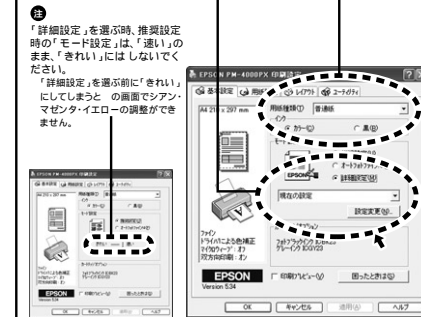
エプソン全色顔料系インクのプリンタでのより美しい印刷・転写のために。

エプソンプリンタ PM-4000PX、PX-G900・V600・V700、CC-600PXなど、全色顔料系インクのプリンタをお使いの方は、必ず以下の用紙設定で印刷を行ってください。通常のプリンタと同じ「普通紙・キレイ」の印刷設定で印刷されると、アイロン時、画像によってはイエロー(黄色)のインクが熱により昇華し、アイロン転写部分を黄色く染めるおそれがあります。お手数ですが、下記の設定により印刷を行っていただくようお願いいたします。

用紙設定	印刷モード: 詳細設定の中・カラー調整
PM-4000PX、PX-G900・V600・V700、CC-600PX など全色顔料系インクのプリンタ	普通紙
	PX-G900・V600・V700、CC-600PX
	シアン.....+5~-+10
	マゼンタ.....+15~-+20
	イエロー.....-25

この設定を参考に、デザイン・画像により微調整してください。

用紙の設定を以下のとおり、行ってください。
基本設定の画面から「用紙種類」で「普通紙」を選んだあと、「詳細設定」を選び、「設定変更」ボタンを押し、自動設定の画面を出します。



手動設定の「カラー調整」のところで
PX-G900・V600・V700、CC-600PXは
シアン.....+5~-+10
マゼンタ.....+15~-+20
イエロー.....-25

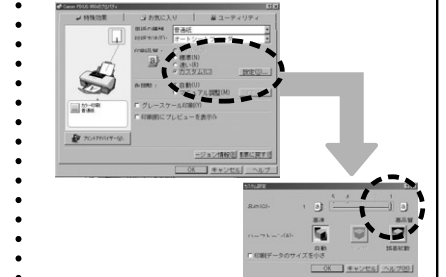
PM-4000PXは
シアン.....+5
マゼンタ.....+5
イエロー.....-15~-20

に、設定してください。また、「印刷品質」で、よりきれいな印刷のために「フォト」を選んでください。そのあと「OK」ボタンを押して、基本設定の画面に戻って印刷してください。PX-V700の場合



キヤノン製インクジェットプリンタでのより美しい印刷のために。

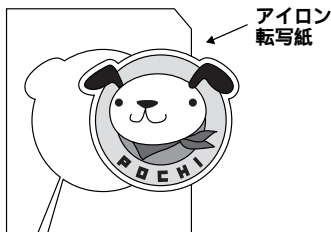
- a. PIXUSシリーズなどで「用紙の種類」を「普通紙」、「印刷品質」を「標準」で印刷すると、横筋が入ることがあります。より美しい印刷のために「印刷品質」で「カスタム」を選び、「設定」で品位「高品質:1」を選んでください。



b. 用紙の特性上、用紙に反りがあると、印刷開始位置にインク汚れが出る場合があります。右記の図のように用紙を軽く曲げ、反りをなくしてください。(あまりひどく折り曲げないでください。また、このとき印刷面が汚れないようお気を付けてください。)



3 アイロン転写紙の余白部分を切り取ります。
イラストにそって余白部分をキレイに切ってください。

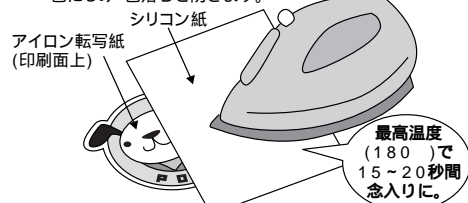


ご注意

画像に合わせて周囲をきれいに切り取ってください。白く残った部分はすべてそのまま白く、転写されてしまいます。複雑な形にされますと、後ではがしにくくなるのでご注意ください。印刷後は、20～30分以上乾燥させてから速やかに転写してください。印刷後はにじみや変色などが生じるおそれがありますので、長時間放置しないでください。

4 切り取ったアイロン転写紙にアイロンをかけます。
アイロン転写紙の印字面を上にして置き、シリコン紙をあてて、全体にまんべんなくアイロンをかけます。

この過程で熱をかけることで転写紙の表面に「耐水性被膜」をつくり、色にじみ・色落ちを防ぎます。



デニムバッグ以外の布に転写するときは、P.4の「注意!!デニムバッグ以外の布に転写する時」をご覧ください。

5 熱が冷めてからアイロン転写紙をゆっくりとはがします。

一度熱をかけているので周りが少しはがしくなっています。周りが汚くならないよう気をつけてはがしてください。

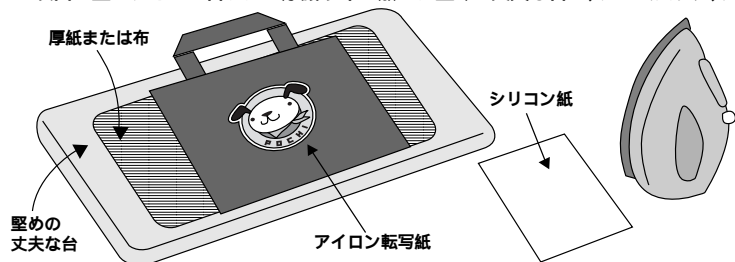


ご注意

アイロン転写紙を勢よくはがすと、アイロン転写紙が伸びるおそれがありますので、はがすときはゆっくりとはがしてください。複雑な形にすると、アイロン転写紙がまるまったり、やぶれたりして、上手く転写できないことがありますのでご注意ください。

6 堅めのアイロン台とアイロン、デニムバッグ、シリコン紙を用意します。

表面の堅いアイロン台または厚紙や布を敷いた堅くて丈夫な台と、デニムバッグ、シリコン紙を用意します。



注

一度貼るとはがせません! いらぬ布で試してからお使いください。

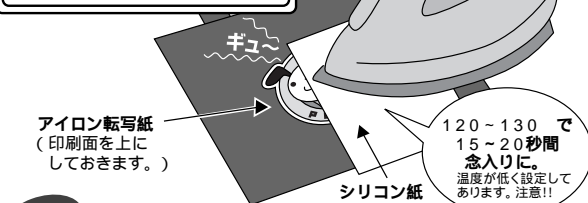
ご注意

デニムバッグはその特性上、色うつり・色落ちが見られることがあります。転写する画像が白っぽかったり、淡い色の時は、転写前にバッグを一度洗濯することをおすすめします。またその時、バッグは他のものと一緒には洗わないでください。洗濯後は必ずアイロンをかけ、しわをのばしてから転写をしてください。デニムバッグにしわがある時は、あらかじめアイロンでしわをのばしておいてください。

7 アイロンをかけます。

プリントする位置にアイロン転写紙を印刷面を上にして置き、シリコン紙をあてて、両手で体重をかけて上から強く押さえつけるようにしっかりアイロンをかけます。(4)のときと異なり、アイロンの設定温度が低くなっています。アイロンが十分に冷めてから作業を行ってください。ここでアイロンの温度が高いと、転写紙の白い部分が青く染まってしまう。)

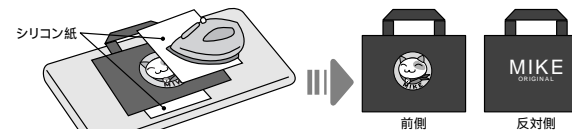
アイロンは両手を使って、全体重をかけて念入りにかけてください。温度は120～130度、ドライにしてください。アイロンの温度に注意!!



ワンポイント

両面にアイロン転写する時。

両面にアイロン転写をするとき、転写紙部分とアイロン台の間に必ずシリコン紙をひいてください。シリコン紙がないと、アイロンの熱でアイロン台に直接ふれた転写部分が、アイロン台にはりつくおそれがあります。その際、シリコン紙は切ってお使いください。



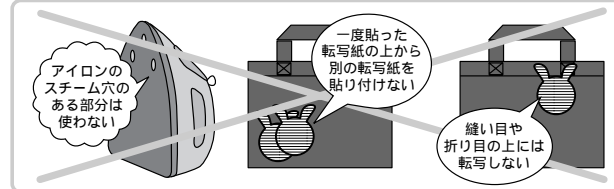
ご注意

アイロンについて
アイロンの温度が高いと転写紙の白い部分が青く染まってしまう。4)の作業後、アイロンが十分に冷めてから作業を行ってください。アイロンは約5分間、予熱してください。スチームの使用はしないでください。家庭用アイロンでスチーム穴があるときは、その部分でムラが発生しやすいので、穴のない平らな面を使って転写してください。コードレスアイロンの場合、アイロン中に温度が低下しますので、こまめに充電してください。

転写について(アイロンがけのコツと注意)

転写する画像の大きさ、印刷内容によって、アイロンをかける時間を変えてください。画像の濃度が濃いもの、また押さえつけるアイロンが小さく転写部分がアイロンからはみ出すときは、アイロンをかける回数と時間を多めにしてください。その際、布やアイロン転写紙が焦げないようにご注意ください。必ず1カ所「15～20秒ずつ押さえつける」作業を2～3回繰り返して、全面に均等に熱と力が加わるようにしてください。特に周辺と角にしっかりアイロンをかけてください。アイロン転写紙の裏表を間違えないようご注意ください。逆に置くときとアイロンまたはシリコン紙についてしまいます。シリコン紙なしで、直接転写部分にアイロンをかけないでください。転写部分が溶けてしまいます。均一に熱が加わらないとムラができ、きれいに転写できません。アイロンが不十分だと色落ちしやすかったり、洗濯時に転写部分がはがれやすくなります。間違えて転写した転写紙の上から、別の転写紙を貼り付けしないでください。色にじみ、色落ち、はがれの原因になります。加熱中に蒸気および臭気が発生することがありますので、換気の良い所で作業してください。アイロンの熱や作業によっては、素材を焦がす恐れ、またカラー布は変色する恐れがあります。注意しながら作業をすすめてください。一度転写すると、はがすことはできませんので、慣れるまではいらぬ布で試してからご利用されることをおすすめします。

7 アイロンをかけます。の続き



シリコン紙について
シリコン紙は10～20回程度使用できますので、大切に保管してください。なお、20回未満でもシリコン紙に色移りがあるようなら、使用をやめてください。エプソンの顔料系インクを使用したプリンタPM-4000PX、PX-G900・V600・V700、CC-600PXなどにも対応していますが、これらのプリンタで印刷した場合、アイロンをかけるとシリコン紙に色がつくことがあります。シリコン紙に色移りがあったときは、そのシリコン紙のご使用はおやめください。他の布にシリコン紙について色がつくおそれがあります。その際は、市販のシリコン加工をしてある耐熱性のあるクッキングシートなどをかわりにお使いください。(念のため、いらぬ部分でお試しの上ご使用ください。) アイロンをかけた布が十分に冷めてから、シリコン紙をはがしてください。

8 できあがり!!

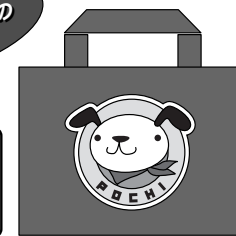
アイロンをかけることで水性インクが染まり、色落ちしにくくなります。またアイロンで加熱・加圧されることでアイロン転写紙の印刷表面に耐水性被膜が形成されるので色落ちしにくくなり、洗濯を繰り返しても色が鮮やかです。

初めは余分なインクが水洗いなどにより多少流れ出てきます。10回程度の洗濯では色落ちなどの心配はありません。それ以上の洗濯では若干色があせてくる事があります。(但し、全ての条件に従って印刷・転写されている場合)

ご注意

デニムバッグは素材の特性上、汗や雨などで濡れた時、また、強くこすられた場合、摩擦により他の衣服に着色することがありますのでご注意ください。転写後のバッグを持ったまま海水や水の中に入らないでください。にじみや色落ちが起こることがあります。水滴や雨などによるにじみなどの可能性がありますので、一度洗濯してからのご使用をおすすめします。転写後、半日くらいおいてから洗濯を行ってください。

世界で1枚のオリジナルバッグの出来上がり!!

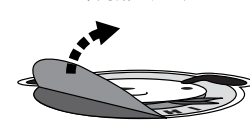


色々なアイデアであなただけのオリジナルプリントバッグを作ろう!

注意!! デニムバッグ以外の布に転写する時

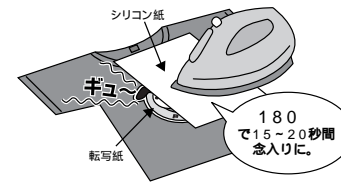
デニムバッグ以外の布に転写するときは、印刷後4)の作業はせず、アイロン転写を行ってください。

印刷後20～30分乾燥させた後、好きな形に切ったアイロン転写紙をゆっくりはがします。



6)の準備をしてアイロンをかけます。プリントする位置にアイロン転写紙の印刷面を上にして置き、シリコン紙をあてて、両手で体重をかけて上から強く押さえつけるようにしっかりアイロンをかけます。

アイロンは両手を使って、全体重をかけて念入りにかけてください。温度は180度、ドライにしてください。



その他注意事項は6)7)および8)の「ご注意」をご参照ください。

洗濯について

重要 誤った洗濯方法は、色落ちやにじみ、はがれなど不具合をおこす原因となります。下記の指示に従ってください。

用紙自体の耐久性を高めてはいますが、インクジェットプリンタで印刷しているため、通常の洗濯ものと異なるデリケートな取り扱いが必要となります。市販されているプリントTシャツなどと同様に扱わないようにしてください。下記の注意に従って、洗濯機で洗濯してください。(手洗いはしないでください。)

以下の方法に従わない洗濯方法ではご使用にならないでください。

注:洗濯耐久性を上げましたがなるべく汗や雨などに濡れた状態で長時間放置しないでください。にじみが出たり、色移りしていくことがあります。(やむなく放置される時は、転写部が他の布に触れないよう、形を整えてください。色移りを避けることができます。)



転写部分を裏返し、ネットに入れてください。アイロンのかけ方が不十分だと色落ちすることがありますので、他の衣類とは分けて洗濯してください。冷水で、家庭用洗濯機で弱流にして洗ってください。30度以上の温水での洗濯は避けてください。(お風呂の残り湯などにはにじみや色落ちの原因になることがありますので、使用しないでください。) 市販の洗濯剤を使用してください。(但し、漂白剤入りの洗剤、漂白剤、柔軟剤は使用しないでください。) 洗濯後・脱水後は、ぬじれた状態となり、転写部分が貼り付きやすい状態となりますので、直に取り出し、形を整えて陰干ししてください。乾燥機のご使用はお避けください。シートの特性上、少しずつ劣化しひび割れが生じることがあります。

洗濯する際のご注意

つけおきはしないでください。色落ちの原因になりますので、ドライクリーニングはしないでください。洗濯にはかならず冷水をお使いください。風呂の残り湯は使わないでください。また、手洗いはしないでください。漂白剤、柔軟剤は使わないでください。マイナスイオン洗濯、タンブラー洗濯など、特殊な洗濯方法は選ばないでください。激しく色落ちすることがあります。

洗濯後のアイロンがけについて

洗濯堅牢性に優れていますが、万一転写物の一部がはがれ、浮き上がりが見られたら再度シリコン紙を介して加熱加圧することをお勧めします。アイロンをかけると、転写紙は元通りに貼り付けられます。アイロンのかけ方は、7)を参照ください。転写した部分にアイロンをかけるときは、必ずその部分にシリコン紙を置いて行ってください。

使用上の注意

対応布、対応プリンタ、転写方法、洗濯方法など、ここに記載されている以外の方法でご使用になられた場合に生じた不具合について、当社では一切の責を負いかねます。予めご了承ください。アイロンを使用しますので、やけど、火災にご注意ください。特にお子さまだけ取り扱いはおやめください。ご使用前に本製品とアイロンの取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。印刷面をこすったり、傷をつけたり、折り曲げたりしないでください。プリンタの種類、プリンタの印刷モード、インク、ドライバソフトなどにより画像色・画像の精細さが変わることがあります。布地に転写されたものははがすことはできませんので、テストしてから本番の布に転写してください。また、失敗の責任は負いかねますのでご了承ください。用紙は必要ない限り取り出し、開封後はなるべく早くにお使いください。(開封後2ヶ月まで) コピー機、レーザープリンタ、ドットプリンタ、熱転写プリンタなどインクジェットプリンタ以外では使用できません。

保管上の注意

使用しない用紙は必ずビニール袋に入れて気温40度以下、湿度80%以下の場所で重量がかからないようにして、水平にして保管してください。外で長い時間放置いたしますと、反りが発生したりする可能性があります。高温、高湿、直射日光、蛍光灯の光など、また空気の流れ(空調など)のある場所を避けて保管してください。開め切った車内やトランクなど、高温になる条件での保管は避けてください。開封後はなるべく早くにお使いください。

万一製造上の不備がございました場合には、同数の新しい製品とお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦いただきます。本製品は光や保管条件によって変色、退色いたしますが、この点についてのお取り扱い、その他の補償はご容赦いただきます。商品改良のため、仕様・外観は予告無しに変更することがありますのでご了承ください。記載の社名及び製品名は一般に各社の商標又は登録商標です。

開封後、2ヶ月以内に早めにお使いください。

サンワサプライ株式会社
www.sanwa.co.jp